

# 福島大学の概要 及び業務内容

## ◆概要

### ◆事務組織と業務内容

### ◆教育目的・理念、取り組み

### ◆求める職員像

### ◆第2次試験

福島大学人事課

# ◆概要

福島大学は、2019年に創立70周年を迎え、同時に金谷川へのキャンパス移転40周年、そして、福島県民の悲願であった食農学類の新設と既存4学類の再編、そして教育改革からなる「三位一体の改革」を行い「新生福島大学」に生まれ変わりました。



## 【設立】

昭和24年5月（平成16年4月～国立大学法人へ）

## 【組織】

教育上の組織（3学群5学類）（4研究科）

「人文社会学群」人間発達文化学類、行政政策学類、経済経営学類、  
「理工学群」共生システム理工学類、「農学群」食農学類、4研究科

研究上の組織（8学系）

教育学系、地域文化・言語学系、健康・運動・心理学系、法・行政・社会学系、  
経済・経営学系、自然科学・情報学系、応用理工学系、生物・農学系

その他組織

・附属図書館 ・3機構 ・7センター ・2研究所 ・附属4校園 ・事務局

【教職員数】（令和3年5月1日現在）※非正規職員を除く

・役員8名 ・大学教員238名 ・附属教員83名  
・事務系職員 128名

【学生数】（令和3年5月1日現在）

・学類生、大学院生 4,331名  
・児童、生徒、園児 1,152名



# ◆事務組織と業務内容

◆福島大学では、教育研究組織の再編や地域課題などに対応するため、事務機構改革をその都度行っています。近年では、食農学類支援室又は大学院改革室の新設、研究・地域連携課の改編を行いました。

◆業務は、主に総務系、財務系、教務・学生系、研究協力系、学術情報系、施設系に分かれています。行事・イベントなど、全学で連携・協力して行う業務もあります。

課・室等	
	学長室
	監査室
事務局	総務課
	校友会・基金支援室
	大学院改革室
	人事課
	財務課
	施設課
	教務課
	学生・留学生課
	国際交流センター
	アクセシビリティ支援室
	キャリア支援課
	入試課
	研究・地域連携課
	学術情報課(図書館)
	総合情報処理センター
	人間発達文化学類支援室
学校臨床支援センター	
附属学校園支援室	
行政政策学類支援室	
経済経営学類支援室	
共生システム理工学類支援室	
食農学類支援室	
環境放射能研究所事務室	

# ◆新しい福島大学の教育目的・理念

福島大学は、これまでどおり学生教育を重視し、全学年にわたる少人数教育を展開しつつ、現代社会におけるさまざまな課題(解のない問い)にチャレンジできる人材を育てたいという教育目的のもと、「問題解決を基盤とした教育」への転換を進めています。

- 学生の自由で自立的な学びを重視
- 地方だからこそ、学べることがある

※教育改革方針「福島大学の新教育制度2019」にもとづく  
新たな教育が始まっています。

# 福島大学ミッション2030(新学長プラン)概要

## (2020年10月)

- \* **大学改革の進め方**  
長期的に持続可能な新しい大学への転換をめざし改革を推進
- \* **教育のあり方**  
地域の現状・課題と大学での学びを重合、地域実践型プロジェクト学習を拡大
- \* **研究のあり方**  
地域課題・21世紀的課題に対応した基盤的研究を政策的に強化、既存の学類・研究科の研究の「強み」を明確化
- \* **地域貢献のあり方**  
地域社会に新しい形を提案し、10年後を見すえた地域の在り方を追求
- \* **組織・運営のあり方**  
「地域と共に21世紀的課題に立ち向かう大学」としての教育・研究・地域貢献を可能とする新たな教育研究組織を構築

# ◆大学の取り組み

## ～地域と共に歩む人材育成大学～

震災・原発事故からの学びを活かし、「新たな地域社会の創造」に貢献できる“地域と共に歩む人材育成大学”として使命を果たすとともに、21世紀的課題先進地における中核的学術拠点として、一層の発展を目指します。



↑  
福島大学マスコットキャラクター  
「めばえちゃん」

# 特色ある震災復興の取り組み

- \* 「うつくしまふくしま未来支援センター」(FURE)による地域の復旧・復興支援
- \* 「環境放射能研究所」(IER)による環境放射能の動態解明
- \* 「ふくしま未来学」による地域づくりを目指す実践的教育
- \* 教育復興プロジェクト事業「OECD東北スクール」
- \* 復興庁『「新しい東北」モデル事業「福島県双葉郡教育復興に関する協議会」』、『「国際教育研究拠点」の予算確保及び「復興知事業」の継続支援』
- \* (COC+)ふくしまの未来を担う地域循環型人材育成の展開(キャリアサポーターによる県内企業との連携)
- \* 子どものメンタルヘルス支援事業推進室による県内子どもの心のケア
- \* 「発酵醸造研究所」設置による発酵醸造の研究拠点創り



# ◆求める職員像

- \* 将来を見通した広い視野と明確な根拠を持って企画立案する職員
- \* 常に問題意識を持ち、自ら考え、主体的に課題に取り組む職員
- \* 経営意識(コスト意識)を持ち、効率的かつ効果的に業務を遂行する職員
- \* 業務に必要な情報の収集、知識の習得を積極的に行う職員
- \* 組織内のコミュニケーションをとり、良好な関係を構築する職員

## 《教育重視の人材育成大学》

福島大学職員はこのような職員を目指しています。

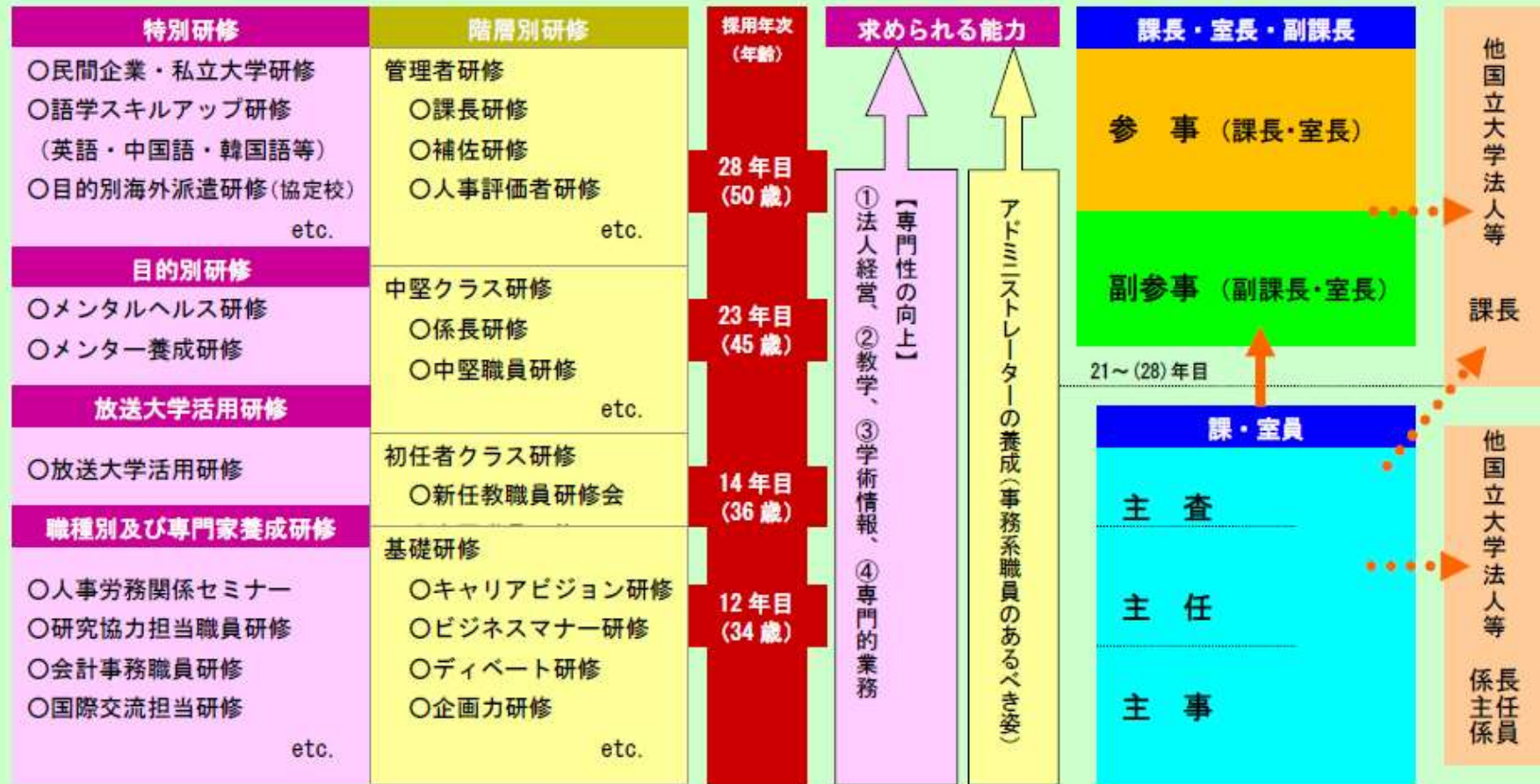
**A I I F o r S t u d e n t s**

～共に成長する職員～

- \* 一歩先をみよう！
- \* 失敗を恐れず何事にも挑戦しよう！
- \* 時間の使い方を工夫しよう！
- \* 常に学ぶ姿勢を持とう！
- \* ありがとう、感謝の気持ちを伝えよう！



# 福島大学事務職員のキャリアパス例



※この表は、あくまでも一例であり、本人の勤務成績や希望により変わります。

## ◆ 2次試験

### 【東北地区国立大学法人等職員採用試験】

第1次試験合格発表→合同説明会

→第2次試験（福島大学）

—令和3年度の例—

◆第1次選考（WEB）

\* 1グループ3名～5名程度で集団面接

◆第2次選考（対面）

\* 第1次選考合格者に対する個別面接

## ◆最後に

ーキャンパスが一つにまとまっていて、コンパクトであることを強みにー

- \* 他部局との交流が容易で、わからないことは直接出向いて見聞きすることができます。
- \* 職員同士の顔が見えるので、仕事に活かせるだけでなく、レクレーションや職員サークルなどアットホームな雰囲気があります。

あなたも福島大学で  
輝いてみませんか！